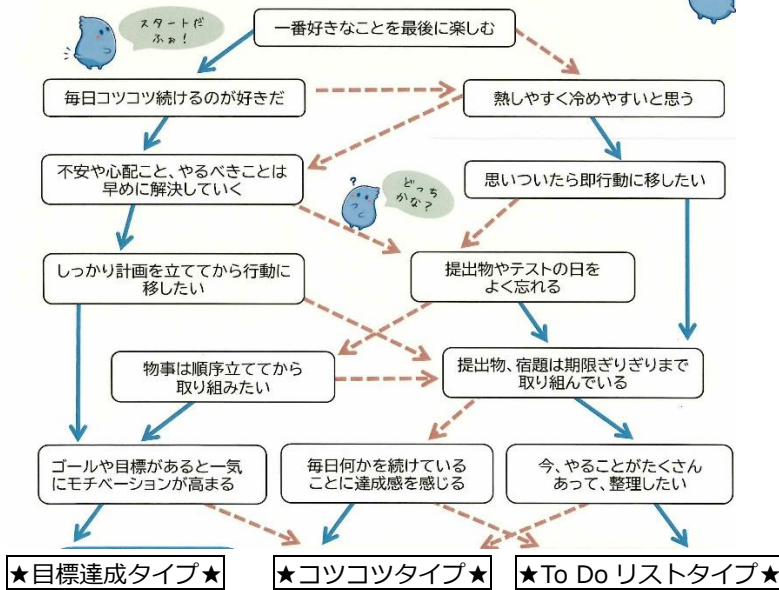


## 前期中間考査に向けてキャリアノートを活用しよう

来週、6月4日(木)から前期中間考査がスタートします。中学校の定期考査は1~2日で全てのテストを終えたと思いますが、高校は違います。一日に受けるテストは2つ~3つで、4日も考査期間があります。さらに、7一週間前からは部活動停止でいつもより2~3時間早く帰宅することができますが、時間の使い方が下手な人は、この時間を無駄に過ごします。今こそ、キャリアノートを見直す時が来ました！ まずは下の簡単な診断を使い、自分に合った使い方から始めてみましょう。

(Yesは青矢印、Noは赤矢印)



### 【目標達成タイプ】

既に物事を計画的に進められているあなた「今週のテーマ」欄にこの1週間でどんな自分になる？その為に何をすべき？と、少し大きな目標を書くと達成感や充実感があり、さらにレベルUPするでしょう。

### 【コツコツタイプ】

言われたことは期限までにやれるけれど、自分の勉強がまだ定着していないあなた。「今週のやること」欄に続けたい事を書き、毎日できたか☑しよう。取り組む時間帯を決めると続けやすいよ。

### 【To Do リストタイプ】

面倒くさいことを後回しにしない為、全て書き出し視覚化！終わったら☑だ！  
(文責：桑原)

## ♪3年の窓♪

The mid-term exams are coming soon! (中間考査間近です！)

月日が流れるのは早いもので、6月4日から前期中間考査が始まります。おそらく、「直前なのに勉強量がぜんぜん足りないよ～」と焦っている人が多いのではないのでしょうか(実際、いくら勉強しても「これで大丈夫!」とはなかなか思えないものです)。

そこで今回は、不安でしょうがないという人のために英語のおまじないを一つご紹介したいと思います。ALTの先生(英国出身)から教わったのですが、木材を触り(軽くたたき)ながら“touch wood”と言うそうです。オンライン上のCambridge Dictionaryには、その意味として、

“said in order to avoid bad luck, either when you mention good luck that you have had in the past or when you mention hopes you have for the future” (過去にあった幸運について言及した時または未来の希望について言及した時に、不幸を避けるために言われる【訳：筆者】)

と書かれています。ちなみに米国では“knock on wood”と表現するそうです。微妙に違いますね。

しかし分かっていると思いますが、おまじないだけ唱えていれば試験は大丈夫なんてことはぜんぜんなく、最後まで学力は伸び続けると信じて頑張らなければいけませんよ!同じく英語のことわざで“Heaven helps those who help themselves.”(天は自ら助くる者を助く)と申しまして、まずは自分で努力しなければ運も味方にできないのですから。

(文責：塩原)

## ♪2年の窓♪

### 学んで時に之を習ふ、亦説ばしからずや

新しいクラスになり、そわそわして過ごした4月。5月になりスポーツ交流大会や修学旅行といった行事を通して、ようやく少しずつクラスの雰囲気馴染めてきていることと思います。少し前に懇談が終わったばかりですが、そこでの話題は皆さんの中に活かされているでしょうか？

さて、もうすぐ2年生最初の定期考査ですね。文系・理系で早くも科目構成に大きな変化があるわけですが、自分自身で選択して現在があるわけです。ぜひ、前向きな勉強をしていただきたいと思います。

冒頭の「学んで時に之を習ふ、亦説ばしからずや。」とは『論語』からの引用です。その意味するところは、「学問をして折にふれてこれを復習し身につけていくことは、なんと喜ばしいことではないか。」ということになりますが、この喜びにふれたことのある人はどれほどいるでしょう。私の母が「勉強はわかるようになるめっちゃくちゃ楽しいものだ。」と子供の頃の私によく言っていました。私の子供が宿題に苦しんでいる時もまた、同じことを言い聞かせてくれていました。たいへんな勉強家であった母からのメッセージを今一度かみしめています。

勉強することにはある程度の苦しみはつきものだと思います。それでも、まずは中間考査に向けて学習したことをしっかりと振り返り、定着させることを目指してみてください。何を勉強したらいいかわからない人は手探りで進むことになるかもしれません。しかし、立ち止まっている場合ではないのです。何か一歩でも動き出したらその先にはきっと・・・

(文責：紀平)

## ♪1年の窓♪

### 自分の進路選択のためにニュースを活用しよう！

1年生で最も大切な進路選択が来年度以後の所属クラスに関する「文理選択」です。この決定が大きく自分の将来の進学先や職業を左右するので極めて重要な選択といえます。

それでは、選択にあたって何を基準にしたらよいのでしょうか。大抵は、「得意科目がどちらの系統にあるか」、「どんな分野に関心があるか」、「将来どんな職業に就きたいか」などが主な選択基準となると思います。しかし、社会や時代の流れや学問の実態がよくわからないうちに選択をするのですから最適な選択となるかはわかりません。

そこで、この問題を解決するためにニュースを活用することをお勧めします。多くの本を読んだりその魅力を聞いたりすることでその穴を埋めることができますが、時間やアクセスの点からその効用は限られてきます。これに対して、ニュースは短い時間で社会や学問の様々な分野の最新の動向を知ることができるので有効な方法だと言えます。

しかし、何でもいいからニュースを聞いたり読んだりすればよいというわけではありません。ニュースの内容に加えてその背景や課題などを知り自分なりの意見やコメントをしてみることで、そのニュースが自分にとって意味のあるものになり進路選択の重要な判断基準となるのです。

この観点で今回皆さんにお勧めしたいのが「**漫画家イENAガの複雑社会を超定義**」という番組です。NHK総合で土曜日午後11:30、再放送午前9:45に1回15分で放映されています。今までに70を超える内容を取り扱っており、インターネットでもNHKのHPからアクセスして全てのコンテンツを読むことができます。総合的な探究の時間ではこの1つの回を視聴する予定ですが、「社会がどう変わろうとしているか」とか「それに学問がどう対応しようとしているか」がわかりやすく制作されていて皆さんにピッタリの番組だと思います。またこうしたニュース解説を一つ取り上げ発表するというワークショップも予定しています。ぜひ積極的に活用してください。

(文責：今井)